



6月26日 | みんなで育てたトウモロコシ

六合幼稚園の園児43人が、自分たちの手で作付けし、大きく実ったトウモロコシを収穫しました。

約500株のトウモロコシは、太陽の光をいっぱい浴びて、みんなの背丈を超えるほどに成長しました。初めは苦戦していた園児たちも、次第に「大きい」「上手に採れた」と大きな歓声を上げながら無事収穫。農作業の苦労と、手作り野菜の美味しさを同時に体感した様子でした。

6月2日 | 環境に配慮した市民生活を

地球温暖化防止など、環境を考える市民交流イベント「環境フェア in 島田」が、プラザおおりで開催されました。

この催しは毎年、環境月間である6月に、環境への意識高揚を目的として行われています。会場では、節電やリサイクル、里山の再生などをテーマとした展示発表や製品を紹介。また、体験コーナーも設けられ、来場者はクリーンエネルギーの発電の仕組みなどを学んでいました。



6月3日 | おもてなしで祝う開港3周年

富士山静岡空港が、開港3周年を迎えました。これを記念して、さまざまなイベントが旅客ターミナルなどで開催され、市内外からの多くの来場者でにぎわいました。

島田市からは、空港に降り立ったお客様に「おもてなし」の気持ちを込めて、おいしい島田のお茶を茶娘が呈茶。「おいしい」「ありがとう」という声があちらこちらから聞こえ、一服のお茶が、空の旅の疲れを癒していました。



6月8日 | 図書館を支える技術と気持ち

金谷公民館で「本の修理ボランティア講座」が開催され、読書好きな受講生14人が集まりました。

参加者は、実際に壊れた本を目にして、その状態に驚きの表情を浮かべた様子。講師から作業の手順の説明を受けると、心を込めて本の修理に取り組みました。本がきれいに生まれ変わると「ページを切り取るような心無い行為はやめてほしい」と切望する声が聞かれました。



6月25日 | 笑顔で深まる日米市民交流

米国リッチモンド市から、6人の友好親善使節が来島しました。一行は7月17日まで、市内の家庭にホームステイしながら、小中高校と企業の訪問や、さまざまな日本文化の体験を通して、市民との交流を深めます。

この日、桜井市長を表敬訪問した使節たちは「島田は美しく安全なまち」「島田に来られてうれしい」などと、日本語を交えながら笑顔で挨拶をしてくれました。

6月30日 | ありがとう 中央児童センター

昭和54年4月オープン以来33年間、子どもたちに親しまれてきた中央児童センターが、閉館しました。

この日は「中央児童センター最後の日のつどい」が開催され、センターの卒業生を含む180人の子どもたちが集合。宝探しや全員合唱など、盛りだくさんのイベントで閉館を惜しみました。親子のふれあいの場は8月5日、「こども館」内にリニューアルオープンします。

